

同内容を、愛知県が県政記者クラブに、西尾市が市政記者クラブに同時発表しています。

24-11-13

ドローンによる河川上空を航路とした複数目的地への配送の実証実験を実施します

名古屋鉄道は、愛知県から受託した「あいちモビリティイノベーションプロジェクト『空と道がつながる愛知モデル 2030』物流ドローン社会実装モデル推進事業業務」の一環で、物流ドローンを活用した約 1 カ月間の複数目的地への配送の実証実験を実施します。

詳細は下記のとおりです。

記

1.実施体制

- 委託元：愛知県（あいちモビリティイノベーションプロジェクト『空と道がつながる愛知モデル 2030』物流ドローン社会実装モデル推進事業業務）
- 実施事業者：名古屋鉄道株式会社
- 協力事業者等：株式会社プロドローン（機体提供および運航等）
中北薬品株式会社（物資協力、機体操縦・運航）
愛知東農業協同組合（物資協力）
生活協同組合コープあいち（物資協力）
東三河ドローン・リバー構想推進協議会※¹（実証実験協力）

※¹ 豊川市・新城市を事務局としたドローン・エアモビリティに関する官民協議会

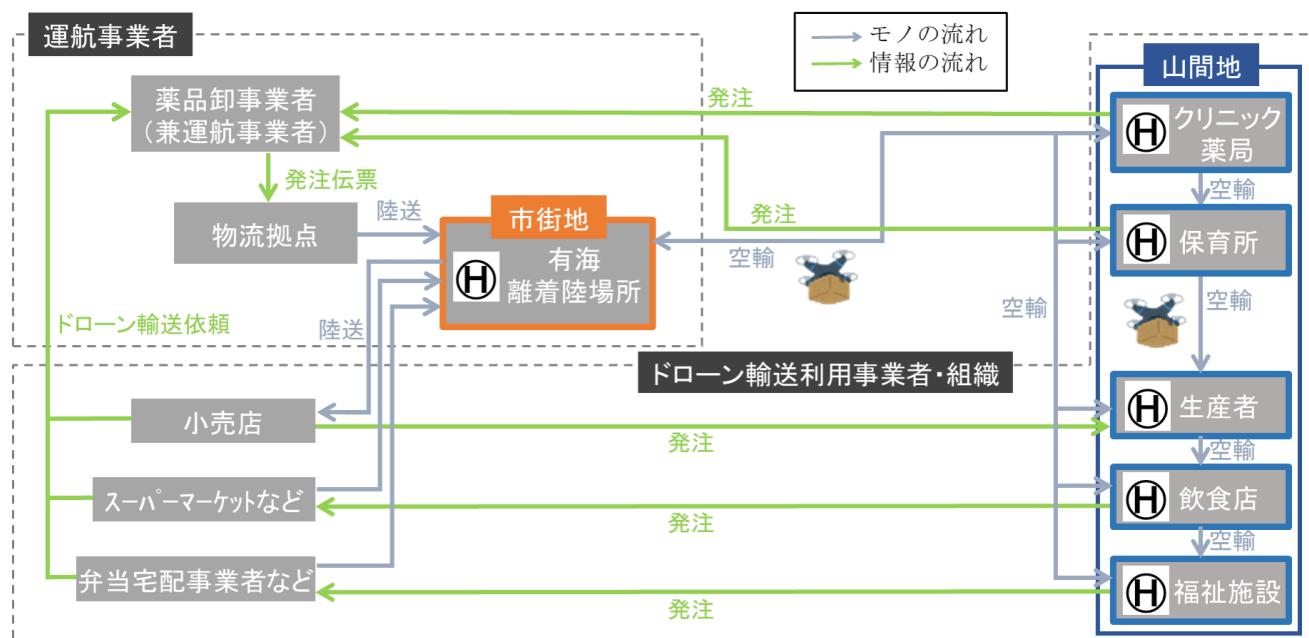
2.実施日時

11 月 27 日（水）～ 12 月 26 日（木）（土日祝日を除く約 1 カ月間）

※荒天の場合等で実施を取りやめる日程が生じる可能性があります。

3.実施内容

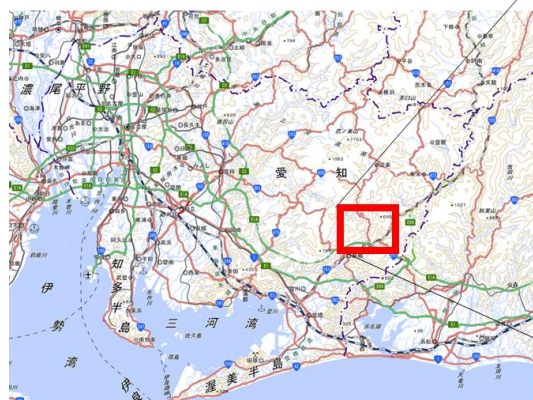
実証 テーマ	河川上空を航路とした複数目的地への配送の検証
実験 内容	将来的なエリア配送を見据え、運用効率向上を目指すビジネスモデルを想定した実証実験を実施します。河川上空を航路として複数の目的地を設定し、発注に応じて日ごとに異なる目的地へ配送します。配送物と目的地によっては、一度の飛行で複数の目的地へ連続的に配送します。 市街地から山間地へは医薬品や日用品、弁当等を、山間地から市街地へは農産物などをドローンのレベル 3.5※² 飛行によって配送します。実験に際しては、着陸地点に設置するカメラやセンサーで遠隔から周辺状況を把握することで、省人化できるかを検証します。さらに、タブレットによるシンプルな機体操縦とすることで、操縦機体に関する専門的な知識や技術を有しないパイロットでも運航できるかを検証します。 ※²：無人地帯における目視外飛行（レベル 3 飛行）で必要となっている立入管理措置（監視員の配置や看板の配置等）に関して、操縦ライセンス保有、保険への加入、機上カメラによる歩行者等の有無の確認を条件として、立入監視措置を不要とする飛行形態のこと。省人化オペレーションにより道路などの横断が可能になり、ドローンの産業活用の促進が期待される。 【課題検証概要】 ・カメラやセンサーによる周辺映像や環境情報を用いた離着陸オペレーション技術の活用による運用効率化 ・定期配送やオンデマンド配送、往復輸送等の配送方法の組み合わせによる利便性・採算性の向上 ・操縦機体の専門パイロットを配置せず運用することによる運用コスト低減 等



【飛行ルート(予定)】

あるみ ふくかわ くろ ぜ ただもち
新城市有海と副川・玖老勢・只持を結ぶ最大 11.0km のルート

離着陸場所	山間地	① 静巖堂医院周辺 (副川地内) ② 山びこの丘グラウンド (玖老勢地内) ③ 玖老勢区民広場 (玖老勢地内) ④ 荷互奈 (只持地内)
	市街地	⑤ ブリッジ英語学院裏私有地



【山間地側離着陸場所(予定)】

① 静巖堂医院周辺



② 山びこの丘グラウンド



② 玖老勢区民広場

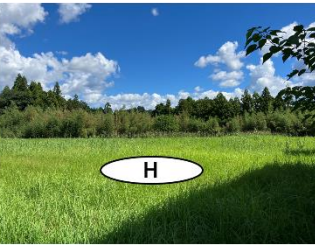


④ 荷互奈



【市街地離着陸場所(予定)】

⑤ ブリッジ英語学院裏私有地(有海地内)



【使用予定のドローン】

製 品 名:PD6B-Type3(プロドローン製)

機 体 サイズ:2,169mm×2,387mm

重 量:約 20kg(バッテリー搭載時)

最大積載量:約 20kg(推奨)

最大飛行時間:最大約 28 分

最大風圧抵抗:12m/s

※第一種型式認証申請機体のベースモデル



4. 問い合わせ先

○本実証実験に関する問い合わせ

名古屋鉄道株式会社 広報部広報担当

TEL:052-588-0813

○事業全般に関する問い合わせ

愛知県経済産業局産業部産業振興課次世代産業室

モビリティイノベーション推進グループ

TEL:052-954-7482

本件は、名鉄グループ中期経営計画(2024～2026 年度)の重点テーマに掲げる「稼ぐ力の強化・構造改革の推進」の「デジタル技術・先進技術等を活用した変革への挑戦」の一環として取り組むものです。

以上